

衆議院北朝鮮による拉致問題等に関する特別委員会ニュース

【第208回国会】令和4年4月11日（月）、第3回の委員会が開かれました。

1 北朝鮮による拉致問題等に関する件

・林外務大臣、松野国務大臣（拉致問題担当）、二之湯国務大臣（国家公安委員会委員長）、宮路内閣府大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者）梅谷守君（立民）、野間健君（立民）、太栄志君（立民）、三木圭恵君（維新）、美延映夫君（維新）、鈴木敦君（国民）、笠井亮君（共産）、浜地雅一君（公明）、中川郁子君（自民）

（質疑者及び主な質疑事項）

梅谷守君（立民）

（1） 拉致問題解決へ向けた政府の決意

ア 「横田早紀江さんを囲む祈り会」発行の「ブルーリボンレポート」に掲載された横田早紀江さんの発言への向き合い方と拉致問題解決に向けた松野国務大臣及び林外務大臣の決意

イ 拉致問題担当大臣を独立させ、専任のポストとする必要性に対する松野国務大臣の見解

ウ 拉致問題について、政府がもっと具体的な情報提供を行うなど地方公共団体に対し説明責任を果たす必要性

（2） 特定失踪者について

ア 内閣総理大臣が特定失踪者家族会とは面会せずに、拉致問題担当大臣が対応している理由

イ 内閣総理大臣が特定失踪者家族会と面会して話を聞く必要性

（3） 拉致問題の広報活動について、若い世代はもとより海外に訴求力がある動画や情報を発信するなど、広報の在り方を改善する必要性

野間健君（立民）

（1） 鹿児島県吹上浜で発生した市川修一さん及び増元るみ子さんの拉致事案

ア 今までの警察の捜査によって判明した事実

イ 拉致事案当時のこの地域における拉致の兆候や不審な動向の有無

（2） 北朝鮮による日本人拉致

ア 北朝鮮が日本人を拉致した目的についての政府の分析

イ 北朝鮮が特定の日本人を選別して拉致したとの見解に対する政府の考え方

ウ 北朝鮮による拉致問題が1970年代から80年代に集中していることと当時の国際情勢及び東アジアの政治情勢との関連性

エ 経済的苦境にある北朝鮮は、拉致被害者を帰還させることで日本から経済的な援助を引き出そうとしているので、それを梃子にして拉致問題を解決すべきとの意見に対する政府の見解

オ 北朝鮮は経済が苦境にあると言いながら弾道ミサイルの発射を繰り返していることを踏まえると、経済的援助を前提に交渉することは誤っているとの認識に対する政府の見解

（4） 岸田内閣総理大臣が金正恩委員長に直接電話をする必要性

太栄志君（立民）

（1） 拉致問題解決に向けた今後の具体的なロードマップ及び期限

（2） 早期の日朝首脳会談実現に向けた交渉の現在の進捗状況

（3） 日韓両国間における北朝鮮の核・ミサイル問題及び拉致問題の連携

ア 実務間協議の具体的な状況

- イ 拉致問題についての情報共有の有無
- ウ 報道で岸田内閣総理大臣のイニシアティブで立ち上げたと言われる両国関係を改善するチームの課題に拉致問題が含まれていることの確認
- (4) 朝鮮総連の幹部及び傘下団体に対する制裁
 - ア 朝鮮総連の幹部及び傘下団体に対し外為法に基づく資産凍結措置を行う必要性についての林外務大臣の見解
 - イ 朝鮮総連を解体する必要性に対する林外務大臣の見解
- (5) 自衛隊による拉致被害者の奪還
 - ア 自国民が拉致された際、その奪還のために自衛隊が軍事行動を起こした場合の国際法上の問題の有無
 - イ 自衛隊の任務に拉致被害者の奪還を可能とするために必要な措置を講ずる必要性

三木圭恵君（維新）

- (1) 拉致問題の啓発活動
 - ア アニメ「めぐみ」や飯塚耕一郎さんの半生を描いた漫画の電子書籍化のみではなく、他の拉致被害者やその家族についても同様の取組を広げる必要性
 - イ 地方公共団体任せではなく、政府が主体となって拉致問題の啓発を行っていく必要性
 - ウ 政府が主導して、各拉致被害者の人生を子供たちに人権教育の一環として取り入れていくことについての松野国務大臣の見解
 - エ 拉致対策本部のSNS等による情報発信に対する利用者の感想及び8か国語翻訳又は字幕付きのアニメ「めぐみ」に対する海外の反響
- (2) 警察の取組
 - ア 拉致の可能性を排除できない事案に係る方々を拉致被害者として認定するための警察の捜査及び調査方法
 - イ 872名の拉致の可能性を排除できない事案に係る方々について、1名も何の結果も出ていないことに対する警察庁の所見

美延映夫君（維新）

- (1) 対北朝鮮制裁の成果について
 - ア 2021年の制裁の履行状況をまとめた国連安保理北朝鮮制裁委員会専門家パネルの最終報告書の内容を踏まえた上での、対北朝鮮制裁の履行状況についての林外務大臣の見解
 - イ 外貨獲得を目的とした北朝鮮によるサイバー攻撃についての警察の対策
 - ウ 対北朝鮮制裁が十分な成果を上げていない場合の原因に対する林外務大臣の見解
- (2) 「瀬取り」対策について
 - ア 政府による「瀬取り」対策は十分な成果を上げているか否かについて林外務大臣の見解
 - イ 「瀬取り」に関与していると疑いを持たれている日本国内の企業や個人の有無
 - ウ 「瀬取り」を含めた対北朝鮮制裁措置に関する違反行為への日本国内の企業や個人の関与に対する捜査の必要性についての二之湯国務大臣の見解
- (3) 中国とロシアによる支援により対北朝鮮制裁の抜け道が発生しているか否か及びその対策についての林外務大臣の見解

鈴木敦君（国民）

- (1) 政府の拉致問題に対する姿勢について

- ア 拉致問題対策本部の直近の協議内容の確認
 - イ 政権の最重要課題である拉致問題を毎回閣議の案件として取り上げていることの確認
 - ウ ロシアによるウクライナ侵略が閣議の案件として取り上げられていることの確認
 - エ 閣議の案件に「拉致問題」という項目を設け、毎回取り上げることの必要性
- (2) 岸田内閣総理大臣による「条件を付けずに金正恩委員長と直接向き合う」との発言について
- ア 金正恩委員長を交渉の場に引き出す方策についての松野国務大臣への見解
 - イ あらゆるチャンスを逃さずに金正恩委員長との交渉を実現することについて林外務大臣の決意

笠井亮君（共産）

- (1) 北朝鮮による度重なる弾道ミサイル発射に対する林外務大臣の所見及び国連安保理における議論と日本政府の対応
- (2) 拉致、核、ミサイル問題の包括的な解決を目指す日朝平壤宣言の今日的意義についての松野国務大臣の見解
- (3) 「新たなミサイル阻止力」について
- ア 北村滋前国家安全保障局長が「文藝春秋」2022年5月号への寄稿で述べている、我が国が保有すべきだとする「新たなミサイル阻止力」の保有を岸田政権は是とするのかについての松野国務大臣の見解
 - イ 岸田内閣総理大臣が総理就任前の2021年3月26日に、ツイッターで北村氏と同じ意見をアップしていたことに対する松野国務大臣の見解
 - ウ 新たなミサイル阻止力が、結果的に最重要課題である拉致問題解決にとって障害となる可能性
 - エ ミサイル阻止力は武力による威嚇又は武力の行使を禁じた憲法第9条と相容れないと思われることについての松野国務大臣の見解

浜地雅一君（公明）

- (1) 北朝鮮による拉致事案の国際法上の犯罪としての認定の有無
- (2) 北朝鮮に「強制失踪からのすべての者の保護に関する国際条約」への加盟や国際刑事裁判所（ICC）の管轄権に服することを促すよう、国際社会に働き掛ける必要性
- (3) 3月24日の北朝鮮による弾道ミサイル発射
- ア 北朝鮮のミサイル技術、特に大気圏への再突入技術についての防衛省の分析
 - イ 同日のミサイル発射について、我が国に対する北朝鮮の意図に関する林外務大臣の見解
- (4) 北朝鮮に対する経済制裁措置のうち、拉致問題を抱える我が国が資産凍結措置の対象としている個人・団体の数が、米国が行っている資産凍結措置の対象数よりも少ない理由

中川郁子君（自民）

- (1) 1998年以降、家族会が内閣総理大臣や外務大臣等と面会した際の面会記録の保存の有無及び記録が存在する場合の閲覧の可否
- (2) 日本の在外公館に、月1回でも現地にある北朝鮮の在外公館に帰国を要請する電話や要請をしてほしいとする家族会からの要望に対する政府の対応
- (3) 海上保安庁の人員確保策
- (4) 北朝鮮にいる拉致被害者に対する政府からの呼び掛けの必要性